



PV[®]6 • PV[®]6BT コンパクトミキサー

オペレーシ
ョンマニユ
アル



PV®6、PV®6BT

コンパクトミキサー

世界クラスの無電源ミキサーパフォーマンスの次のレベルを紹介します。PVシリーズのミキシングコンソールにあるPeaveyの基準品質マイクプリアンプは0.0007% THD – PVシリーズミキサーがライブやレコーディングに最適なのはそのためです。PV 6 BT は基準品質マイクプリアンプ2チャンネル、レコーディング用2ダイレクト出力、2ステレオチャンネル、Bluetoothワイヤレス入力のメディアチャンネル、ストリーミングUSB出力、48ボルトファントム電源、デュアル選択コントロールルーム出力、コンプレッション、オンボード選択ギタープリアンプ1チャンネル、各チャンネル3バンドEQ (バイパス)、各チャンネルエフェクトレベル、信号クリップインジケータ、ステレオマスターLEDメーターブリッジがあります。この多様なミキサーがスタジオでもライブでも使えます。Bluetoothなどの機能によって、ほとんどの「スマート」デバイスとシームレスな接続が可能です。ダイレクト出力ではほとんどのDAW インタフェースに簡単に接続してレコーディングできます。またPV 6 BT はPCに直接オーディオをストリーミングできます。EQバイパスでは、ボタンを押して、EQ後の信号を元の信号と比較できます。コンプレッションは難しいレベルを調整して信号をキープし、Peavey独自のギターシェイプは、ギターのためにEQ、プリアンプを調整します。デザインを一新したPVシリーズミキサーは、パフォーマンスと価値の頂点を極めていきます。

特徴 (両モデル) :

- 2 コンビネーション1/4" 平衡/ XLR 入力で Silencer™ プリアンプをドライブ
- ステレオ1/4"/ 3.5mm 入力チャンネル、入力ゲイン、EQエフェクトセンド、パン / バランス
- 切替え1/4" / RCA (/ Bluetooth PV6 BT のみ) ステレオ入力、入力バランス、レベルコントロール
- 全チャンネルに3バンドEQ
- 2チャンネル Peavey 独自Mid-Morph
- LEDクリップ、信号あり表示
- マイクチャンネルのEQバイパス
- デュアル選択コントロールルーム出力
- グローバル48Vファントム電源
- 1/4" 平衡メインステレオ出力
- 堅牢コンソール設計
- ビルトインステレオコンプレッサ、イネーブルスイッチ
- 各チャンネルステレオパンコントロール
- 2チャンネルダイレクト出力
- ステレオUSB-B ストリーミングオーディオ入出力
- 高品質マスター LED メーターブリッジ
- スタジオ品質ヘッドフォン出力
- Peavey独自オンボード 1 Meg Ω ギター入力
- レベルコントロール付コントロールルーム出力
- エレキギタープリシェイプスイッチ
- 外部ユニバーサル入力電源

PV6BT 他の機能:

- Bluetooth ワイヤレスステレオオーディオ入力
- EFX ミュートスイッチ

PV6のみ:

- Efx マスターレベル – 平衡 1/4" 出力をドライブ

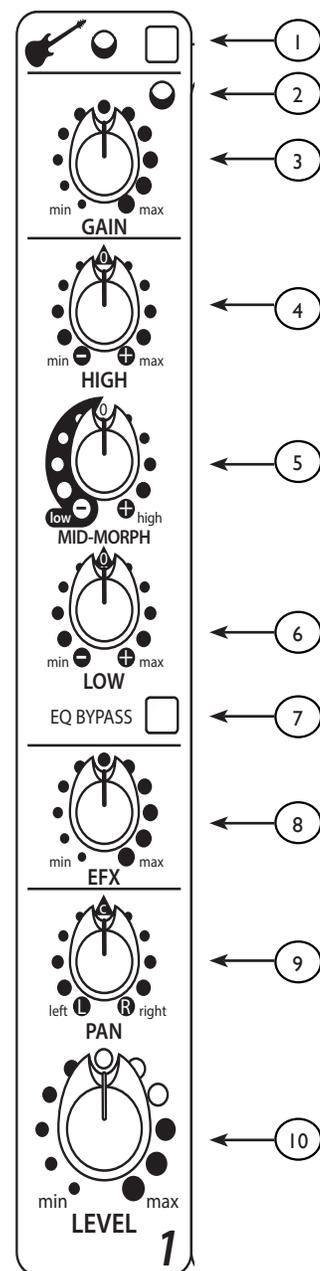


取付けの注意:

本機は、可燃表面から次の間隔を空けて取り付けする必要があります。上部:8"、側面:12"、背面:12"

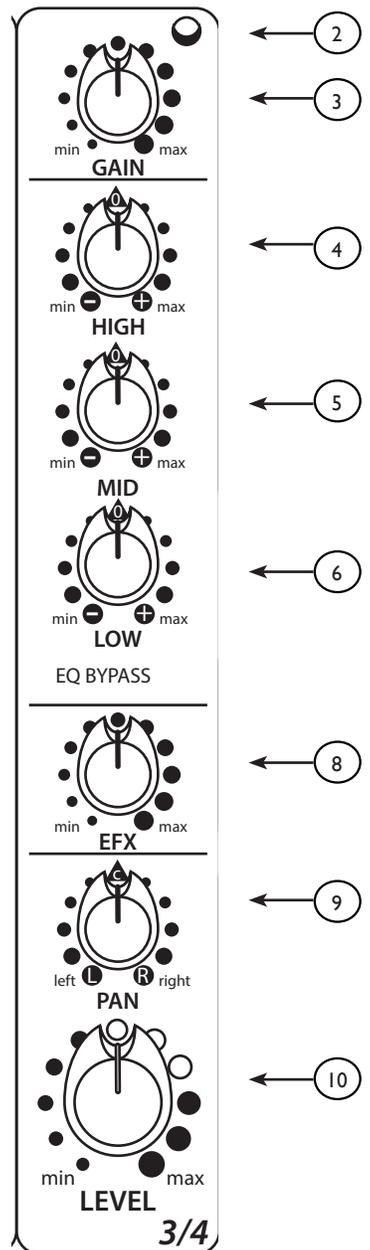
フロントパネルモノマイク入力チャンネル

- 1 **エレキギタープリシェイプ**
ギター用のオンボードイコライジングを最適化します。
- 2 **信号プレゼンス/クリップLED**
ゲインの設定を補助します。ゲイン (3) は、緑色LEDがソースに対して時間通りに点滅し、ピークボリュームでのみ赤色になるように調整します。EQを加えるとクリッピング (赤色LED) する場合は、ここでゲイン (3) を下げて補正します。赤色クリッピングLEDは、ヘッドルームが約5dB残る時に点灯します。
- 3 **ゲイン**
チャンネルに適正なゲイン構造を確立する入力ゲインコントロールです。入力ゲインは幅広いレンジで調整でき、ソフトな声や音の大きいドラムの補正が行えます。信号対ノイズ比を最大にするには、レベルノブ (10) を0にセットして、ゲインを適正レベルにセットします。クリップLEDが点灯し、点灯したままの場合は、ゲインを下げてみます。
- 4 **ハイEQ**
トレブル周波数 (+/-15 dB / 12 kHz) を変え、ソースの質に応じてノイズを除去したり信号にプリリアンスを加えたりするハイEQシェルヴィングタイプのアクティブトーンコントロールです。
- 5 **Mid EQ**
ミッドレンジコントロールはほとんど、1つの周波数だけに有効ですが、ミッドモーフは2つの周波数で有効です。反時計回りに回すと、250 Hz でカットし、音が濁る周波数を減らします。時計回りに回すと、4 kHz でブーストし、ボーカルにメリハリをつけます。どちらにしても、ボーカルや楽器の輪郭を際立たせます。
- 6 **ローEQ**
シェルヴィングタイプのEQで、低周波レベルを調節します (+/- 15 dB / 80 Hz)。ローEQは、音に厚みのない信号に深みを加えるか、音の濁った信号をクリーンにします。他のEQと同じく、控えめに使用します。このEQが多すぎると、低音がブーンと大きく響くこともあります。注意: 低域ブーストが多すぎる場合、消費電力が大きくなり、スピーカーが破損する可能性も大きくなります。
- 7 **EQバイパス**
チャンネルのイコライジングをバイパスします。
- 8 **EFX センド**
エフェクトミックスに送られるチャンネル信号のレベルを調節するコントロールです。信号は内部エフェクトプロセッサ (PV6 BT) か EFX センドジャック (PV6) に送られます。ノブを左 (最小) に回すと、関連チャンネルのエフェクトがオフになり、右に回すと、選択したエフェクトの量が増えます。
- 9 **パン**
このノブは、ステレオフィールドで信号の配置を調整します。反時計回りに最後まで回すと、信号は左チャンネルのみ。時計回りに終わりまで回すと右チャンネルのみになります。このコントロールはバランスコントロールとして、ステレオチャンネルの左右の信号の相対レベルを調整します。
- 10 **チャンネルレベル**
メインミックスに対してチャンネルの出力レベルを調整します。ゲインは、デ Tent を mid (12:00) にセットした時に 0 dB です。最大ゲイン設定で10 dBブーストになります。通常動作は、このノブのデ Tent で始め、入力ゲインとEQをソースを2色LED、メインメーターアレイで通常レベルが分かるように再生してセットします。ソースを追加する時は、通常、このノブを少し下げます。



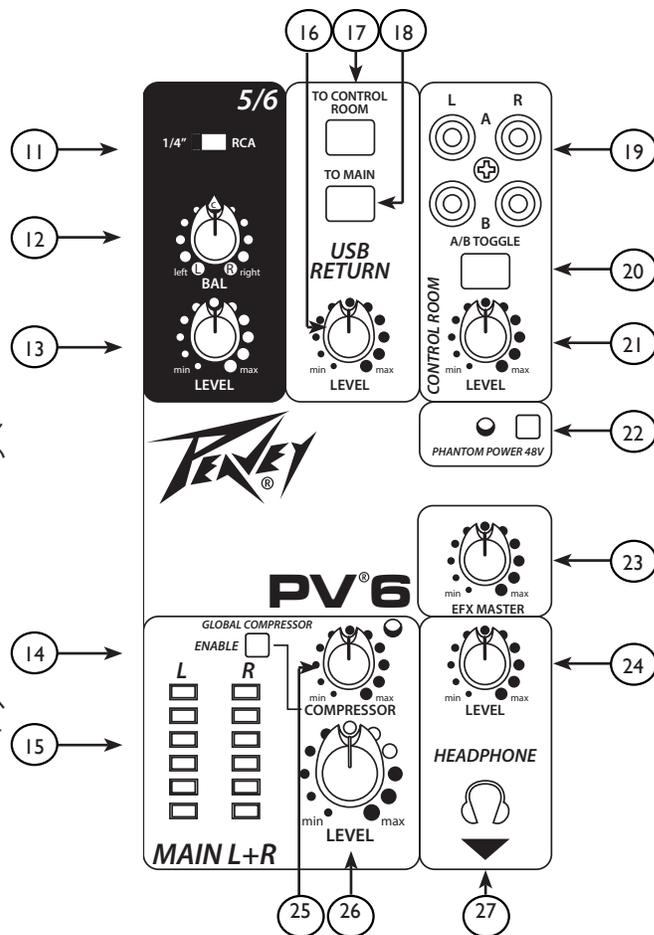
フロントパネルステレオ入力チャンネル

- 2 **信号プレゼンス/クリップLED**
ゲインの設定を補助します。ゲイン (3) は、緑色LEDがソースに対して時間通りに点滅し、ピークボリュームでのみ赤色になるように調整します。EQを加えるとクリッピング (赤色LED) する場合、ここでゲイン (3) を下げて補正します。赤色クリッピングLEDは、ヘッドルームが約5dB残る時に点灯します。
- 3 **ゲイン**
チャンネルに適正なゲイン構造を確立する入力ゲインコントロールです。入力ゲインは幅広いレンジで調整でき、ソフトな声や音の大きいドラムの補正が行えます。信号対ノイズ比を最大にするには、レベルノブ (10) を0にセットして、ゲインを適正レベルにセットします。クリップLEDが点灯し、点灯したままの場合は、ゲインを下げてみます。
- 4 **ハイEQ**
トレブル周波数 (+/-15 dB / 12 kHz) を変え、ソースの質に応じてノイズを除去したり信号にブリリアンスを加えたりするハイEQシェルヴィングタイプのアクティブトーンコントロールです。
- 5 **Mid EQ**
この中域コントロールはステレオチャンネルの eq +/-20 dB @ 440Hzを調整します。
- 6 **ローEQ**
シェルヴィングタイプのEQで、低周波レベルを調節します (+/- 15 dB / 80 Hz)。ローEQは、音に厚みのない信号に深みを加えるか、音の濁った信号をクリーンにします。他のEQと同じく、控えめに使用します。このEQが多すぎると、低音がブーンと大きく響くこともあります。注意: 低域ブーストが多すぎる場合、消費電力が大きくなり、スピーカーが破損する可能性も大きくなります。
- 7 **EQバイパス**
チャンネルのイコライジングをバイパスします。
- 8 **EFX センド**
エフェクトミックスに送られるチャンネル信号のレベルを調節するコントロールです。信号は内部エフェクトプロセッサ (PV6 BT) か EFX センドジャック (PV6) に送られます。ノブを左 (最小) に回すと、関連チャンネルのエフェクトがオフになり、右に回すと、選択したエフェクトの量が増えます。
- 9 **パン**
このノブは、ステレオフィールドで信号の配置を調整します反時計回りに最後まで回すと、信号は左チャンネルのみ。時計回りに終わりまで回すと右チャンネルのみになります。このコントロールはバランスコントロールとして、ステレオチャンネルの左右の信号の相対レベルを調整します。
- 10 **チャンネルレベル**
メインミックスに対してチャンネルの出力レベルを調整します。ゲインは、デテントをmid (12:00) にセットした時に 0 dB です。最大ゲイン設定で10 dBブーストになります。通常動作は、このノブのデテントで始め、入力ゲインとEQを - ソースを2色LED、メインメーターアレイで通常レベルが分かるように再生してセットします。ソースを追加する時は、通常、このノブを少し下げます。



PV⁶ フロントパネル

- 11 **2ウェイオーディオ入力セクタ**
1/4"、RCA オーディオ入力を選択します。
- 12 **バランス**
左右のチャンネルの相対レベルを調整します。
- 13 **レベル**
(11)で選択したソースのレベルを調整します。
- 14 **グローバルコンプレッサーイネーブルボタン**
押すとコンプレッサーが有効になります。
- 15 **LED メーター**
メイン左/右出力のレベルをモニターするため、6セグメント LED アレイが2つ用意されています。これらのメーターのレンジは -18 dBu から +19 dBu です。トップの緑色 LED は出力で +4 dBu に対応します。
- 16 **デジタルリターンレベル**
通常はUSBのあるコンピュータからUSBデジタルオーディオポートに入る信号レベルを調整します。通常設定は12:00付近です。
- 17 **コントロールルームへ**
押すと、USBデジタルオーディオリターンがコントロールルームとヘッドフォン出力にルーティングされます。DAWソフトウェアでレコーディングする時にこの設定にして不要なループをなくします。
- 18 **メインへ**
押すと、USBデジタルオーディオリターンがメインサミングアンプに送られます。この設定は、メイン出力から再生する必要がある時にのみおすすめします。その場合、DAWソフトウェアは入力モニタリングを無効にしておく必要があります。



! 不要なループを作らないように注意してください。ボリュームが大きすぎる結果になり、発振が調整されず、スピーカーや鼓膜を損なうことがあります。

- 19 **モニター用RCAコネクタ**
パワードモニターまたはモニタースピーカーをフィードするアンプをここに接続します。A/Bスイッチ切替え時にモニターA、Bのボリュームを等しくセットします。この出力に送られる信号は通常、左/右ミックスになります。「コントロールルームへ」スイッチ(17)を入れると、USBリターン信号はモニター出力にも送られます。
- 20 **A/B トグルスイッチ**
押すと、A出力がミュートされ、B出力がオンになります。上げると、A出力がオンになり、B出力がミュートされます。これにより、2つの別々のモニターセットでコンピュータのDAWミックスを簡単にチェックできます。
- 21 **モニターレベル**
コントロールルームモニターのリスニングレベルを設定します。最適設定は12:00です。モニターアンプレベル(またはパワードモニターレベル)はこのノブで12:00に調整する必要があります。最大位置では別ゲインが17 dBになります。

- 22 **ファントム電源**
+48 VDC 電圧を XLR 入力コネクタに印加し、ファントム電源を必要とするパワーマイクに電源を供給します。
! ファントム電源を使用する場合、非平衡ダイナミックマイクその他のデバイスは、この電圧を処理できない XLR 入力に接続しないでください。

23 EFX レベル

EFXミックスの出力レベルマスターコントロールです。EFXセンドジャックに送られる出力レベルは、チャンネルレベルコントロール (10)、チャンネル EFXセンドコントロール(8)、およびこのマスターコントロールによって調整します。このコントロールは12:00位置にセットすることをおすすめします。

24 Headphone レベル

このノブは、ヘッドフォンとコントロールルームの出力レベルをセットします。聴覚障害を避けるため、ヘッドフォンを使用する前にダイヤルを反時計回りに終わりまで回してください。ちょうどいいリスニングレベルになるまで、ノブを時計回りにゆっくり回します。

25 コンプレッサーコントロール

時計回りに回すとコンプレッサーのしきい値が下がり、コンプレッションの量が増えます。コンプレッサー比は4:1で、信号レベルとコンプレッション量によって変わります。ライブソースからピークレベルを調整する時に便利です。コンプレッサーはマスターレベルコントロール (26) の後、メイン出力 (35)、USBポート (39) の前なので、DAWに記録されるボーカルを弱めるため使用できます。コンプレッサーの効果を確かめるには、イネーブルスイッチ (14) で切り替えます。コンプレッサーがオンの時、隣接する赤色LEDが点灯します。

26 レベル

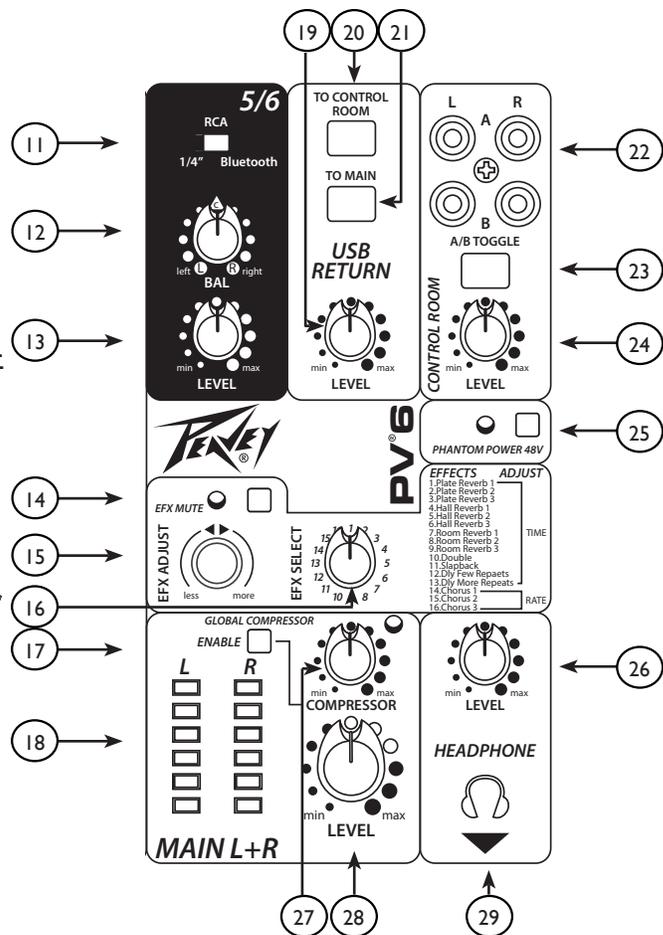
このマスターレベルコントロールは、メイン出力 (35)、USBポート (39) に送られる出力レベルを調整します。

27 ヘッドフォン出力

ヘッドフォン出力は1/4" TRS (ティップ = 左; リング = 右; スリーブ = グランド) ジャックです。この出力に送られる信号は通常、左/右ミックスになります。「コントロールルームへ」スイッチ (17) を入れると、USBリターン信号はヘッドフォンにも送られます。

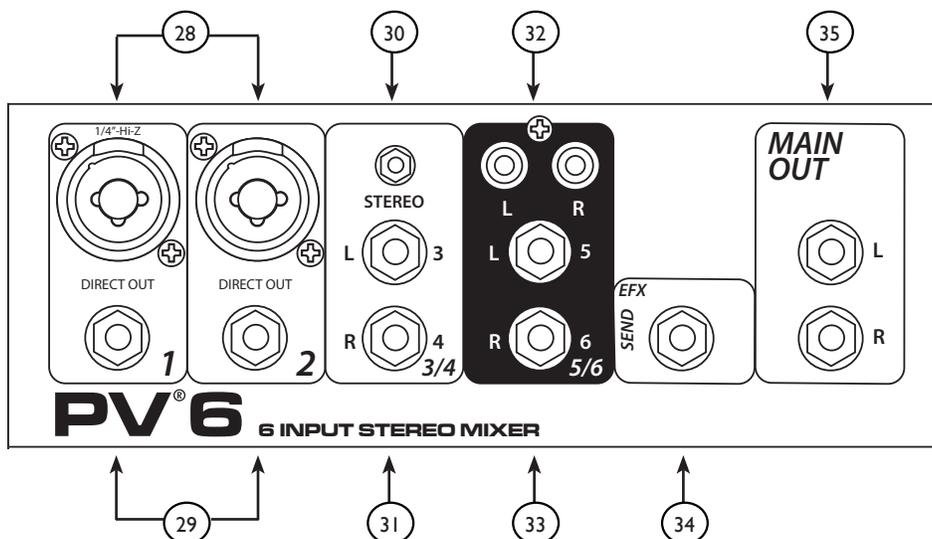
PV*6BT フロントパネル

- 11 **3ウェイオーディオ入力セクタ**
1/4"、RCA オーディオ入力または Bluetooth 接続を選択します。
- 12 **バランス**
左右のチャンネルの相対レベルを調整します。
- 13 **レベル**
(11) で選択したソースのレベルを調整します。
- 14 **EFX ミュート**
このボタンを押すと、メインミックスからのすべてのデジタルエフェクトがカットされます。
- 15 **EFX 調整**
EFXセレクト(16)によって選択されたエフェクトのパラメータを調整するロータリーエンコーダーです。リバース、ダブル、スラップバック、ディレイの場合は時間を調整します。コーラスエフェクトの場合、レートを調整します。このノブで調整は、次にパラメータを調整するまでメモリーに記憶されます。言い換えると、別のエフェクトを選択した場合でも変更結果はキープされます。戻った時の状態は前の状態と同じです。
- 16 **EFX 選択**
適用するエフェクトを選択するロータリーエンコーダーです。エフェクトは、リバース9、ディレイ4、コーラス3です。選択したエフェクトはEFX調整ノブで細かく調整できます。
- 17 **グローバルコンプレッサーイネーブルボタン**
押すとコンプレッサーが有効になります。
- 18 **LED メーター**
メイン左/右出力のレベルをモニターするため、6セグメント LED アレイが2つ用意されています。これらのメーターのレンジは -18 dBu から +19 dBu です。トップの緑色 LED は出力で +4 dBu に対応します。
- 19 **デジタルリターンレベル**
通常はUSBのあるコンピュータからUSBデジタルオーディオポートに入る信号レベルを調整します。通常設定は12:00付近です。
- 20 **コントロールルームへ**
押すと、USBデジタルオーディオリターンがコントロールルームとヘッドフォン出力にルーティングされます。DAWソフトウェアでレコーディングする時にこの設定にして不要なループをなくします。
- 21 **メインへ**
押すと、USBデジタルオーディオリターンがメインサミングアンプに送られます。この設定は、メイン出力から再生する必要がある時にのみおすすめします。その場合、DAWソフトウェアは入力モニタリングを無効にしておく必要があります。



! 不要なループを作らないように注意してください。ボリュームが大きすぎる結果になり、発振が調整されず、スピーカーや鼓膜を損なうことがあります!

- 22 **モニター用RCAコネクタ**
パワードモニターまたはモニタースピーカーをフィードするアンプをここに接続します。A/Bスイッチ切替え時にモニターA、Bのボリュームを等しくセットします。この出力に送られる信号は通常、左/右ミックスになります。
「コントロールルームへ」スイッチ (20) を入れると、USBリターン信号はモニター出力にも送られます。
- 23 **A/Bトグルスイッチ**
押すと、A出力がミュートされ、B出力がオンになります。上げると、A出力がオンになり、B出力がミュートされます。これにより、2つの別々のモニターセットでコンピュータのDAWミックスを簡単にチェックできます。
- 24 **モニターレベル**
コントロールルームモニターのリスニングレベルを設定します。最適設定は12:00です。モニターアンプレベル (またはパワードモニターレベル) はこのノブで12:00に調整する必要があります。最大位置では別ゲインが17 dBになります。
- 25 **ファントム電源**
+48 VDC 電圧を XLR 入力コネクタに印加し、ファントム電源を必要とするパワーマイクに電源を供給します。
-  ファントム電源を使用する場合、非平衡ダイナミックマイクその他のデバイスは、この電圧を処理できない XLR 入力に接続しないでください。
- 26 **Headphone レベル**
このノブは、ヘッドフォンとコントロールルームの出力レベルをセットします。聴覚障害を避けるため、ヘッドフォンを使用する前にダイヤルを反時計回りに終わりまで回してください。ちょうどいいリスニングレベルになるまで、ノブを時計回りにゆっくり回します。
- 27 **コンプレッサーコントロール**
時計回りに回すとコンプレッサーのしきい値が下がり、コンプレッションの量が増えます。コンプレッサー比は4:1で、信号レベルとコンプレッション量によって変わります。ライブソースからピークレベルを調整する時に便利です。コンプレッサーはマスターレベルコントロール (28) の後、メイン出力 (36)、USBポート (39) の前なので、DAWに記録されるボーカルを弱めるため使用できます。コンプレッサーの効果を確かめるには、イネーブルスイッチ (14) で切り替えます。コンプレッサーがオンの時、隣接する赤色LEDが点灯します。
- 28 **レベル**
このマスターレベルコントロールは、メイン出力 (36)、USBポート (39) に送られる出力レベルを調整します。
- 29 **ヘッドフォン出力**
ヘッドフォン出力は1/4" TRS (ティップ = 左; リング = 右; スリーブ = グランド) ジャックです。この出力に送られる信号は通常、左/右ミックスになります。「コントロールルームへ」スイッチ (20) を入れると、USBリターン信号はヘッドフォンにも送られます。



28 **マイク/ライン入力**

1/4" (平衡、非平衡) 入力または XLR 平衡、低インピーダンス用のコンビネーション入力ジャックです。チップは 1/4" 平衡入力、ピン2 は XLR で正です。エレキギタープリシェイブを押すと、チャンネル1の1/4"入力は、12AX7真空管ギターアンプ入力のように高インピーダンス (1 MegΩ) になります。

29 **1/4" TRSダイレクト出力**

マイクプリアンプによってフィードされるインピーダンス平衡出力。チャンネル1出力はエレキギタープリシェイブスイッチの後です。

30 **ステレオ 3.5mm 入力**

MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。

31 **ステレオ入力**

チャンネル 3、4 は、1/4" ジャックを介したステレオ入力です。ジャックを1つしか使用しない場合、パンコントロールのあるモノソースになります。両方のジャックを接続すると、バランスコントロールのあるステレオソースになります - 3は左、4は右。

32 **RCA接続**

MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。

33 **ステレオ**

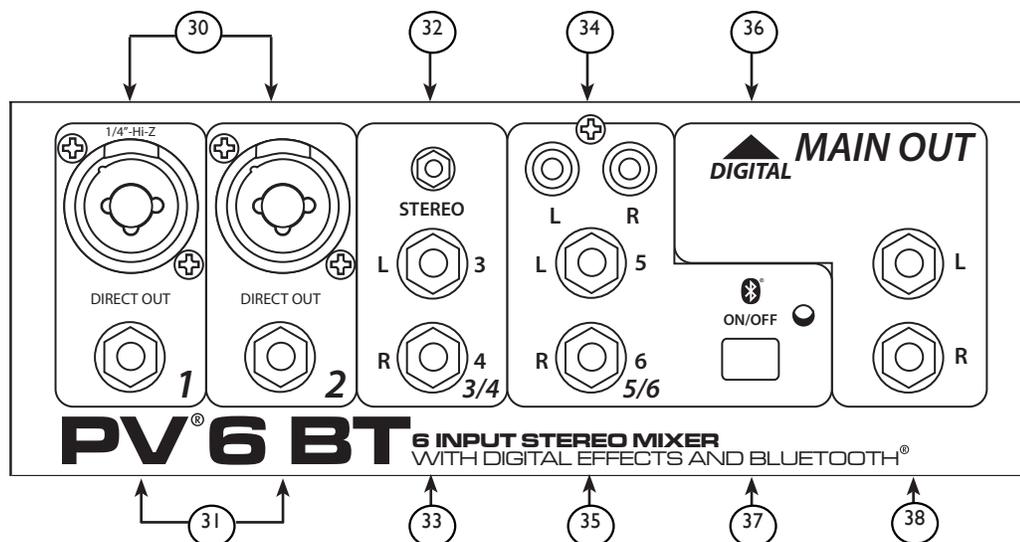
MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。

34 **EFX センド**

EFXセンドマスターレベル (23) によってフィードされるグランド補正TRS平衡出力。これらの出力は、ティップ・リング・スリーブ (TRS) 平衡またはティップ・スリーブ (TS) 非平衡のコネクタで使用できます。

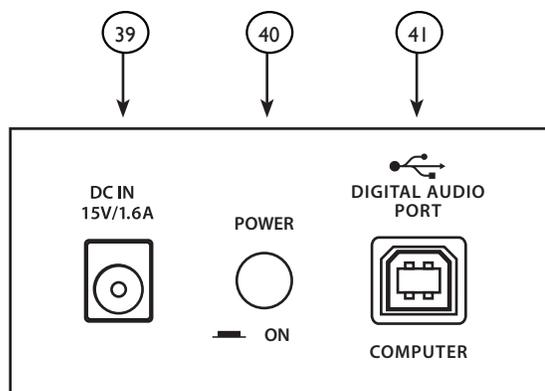
35 **メイン出力**

マスターレベルコントロール (26) によってフィードされるグランド補正TRS平衡出力。これらの出力は、ティップ・リング・スリーブ (TRS) 平衡またはティップ・スリーブ (TS) 非平衡のコネクタで使用できます。



- 30** **マイク/ライン入力**
1/4" (平衡、非平衡) 入力または XLR 平衡、低インピーダンス用のコンビネーション入力ジャックです。チップは 1/4" 平衡入力、ピン2は XLR で正です。エレキギタープリシェイブを押すと、チャンネル1の1/4"入力は、12AX7真空管ギターアンプ入力のように高インピーダンス (1MegΩ) になります。
- 31** **1/4" TRSダイレクト出力**
マイクプリアンプによってフィードされるインピーダンス平衡出力。チャンネル1出力はエレキギタープリシェイブスイッチの後です。
- 32** **ステレオ 3.5mm 入力**
MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。
- 33** **ステレオ入力**
チャンネル 3、4 は、1/4" ジャックを介したステレオ入力です。ジャックを1つしか使用しない場合、パンコントロールのあるモノソースになります。両方のジャックを接続すると、バランスコントロールのあるステレオソースになります - 3は左、4は右。
- 34** **RCA接続**
MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。
- 35** **ステレオ**
MP3 プレーヤー、CD プレーヤー、テープデッキなどのデバイスの出力からステレオ入力を受けます。この入力は、携帯デバイス用に最適化されていて、好感度です。
- 36** **メイン出力**
マスターレベルコントロール (28) によってフィードされるグランド補正TRS平衡出力。これらの出力は、ティップ・リング・スリーブ (TRS) 平衡またはティップ・スリーブ (TS) 非平衡のコネクタで使用できます。
- 37** **Bluetooth® アクティブ化ボタン**
LEDが3回点滅してBluetoothの電源がオン/オフするまで押し続けてから手を離します。オンになるとBluetoothは自動的にペアリングモードになります。ピン7878を使ってBluetooth対応デバイスをミキサーとペアリングできます。ペアにしたデバイスのメモリーをクリアするには、Bluetoothがオフになっているのを確認し、ボタンを10秒以上押し続けます。LEDは最初3回点滅しますが、その後はオフのままです。10秒後にボタンから手を離れた後、オンにしてから通常通り操作を続けることができ、メモリーがクリアされます。
- 38** **左/右出力**
左/右出力には2つの 1/4" TRS Z平衡ジャックがあります。これらの出力は、ティップ、リング、スリーブ (TRS) 平衡コネクタまたはティップ、スリーブ (TS) 非平衡コネクタと併用できます。

PV®6、PV®6BT リアパネル



39 DC電源インレット



付属の電源を接続するために使用します。先にPV®10を電源に接続してからコンセントなどの主電源を接続してください。15 VDC, 1A アダプタのみ使用できます。Peavey部番 30908119とのみ交換できます。

40 電源スイッチ

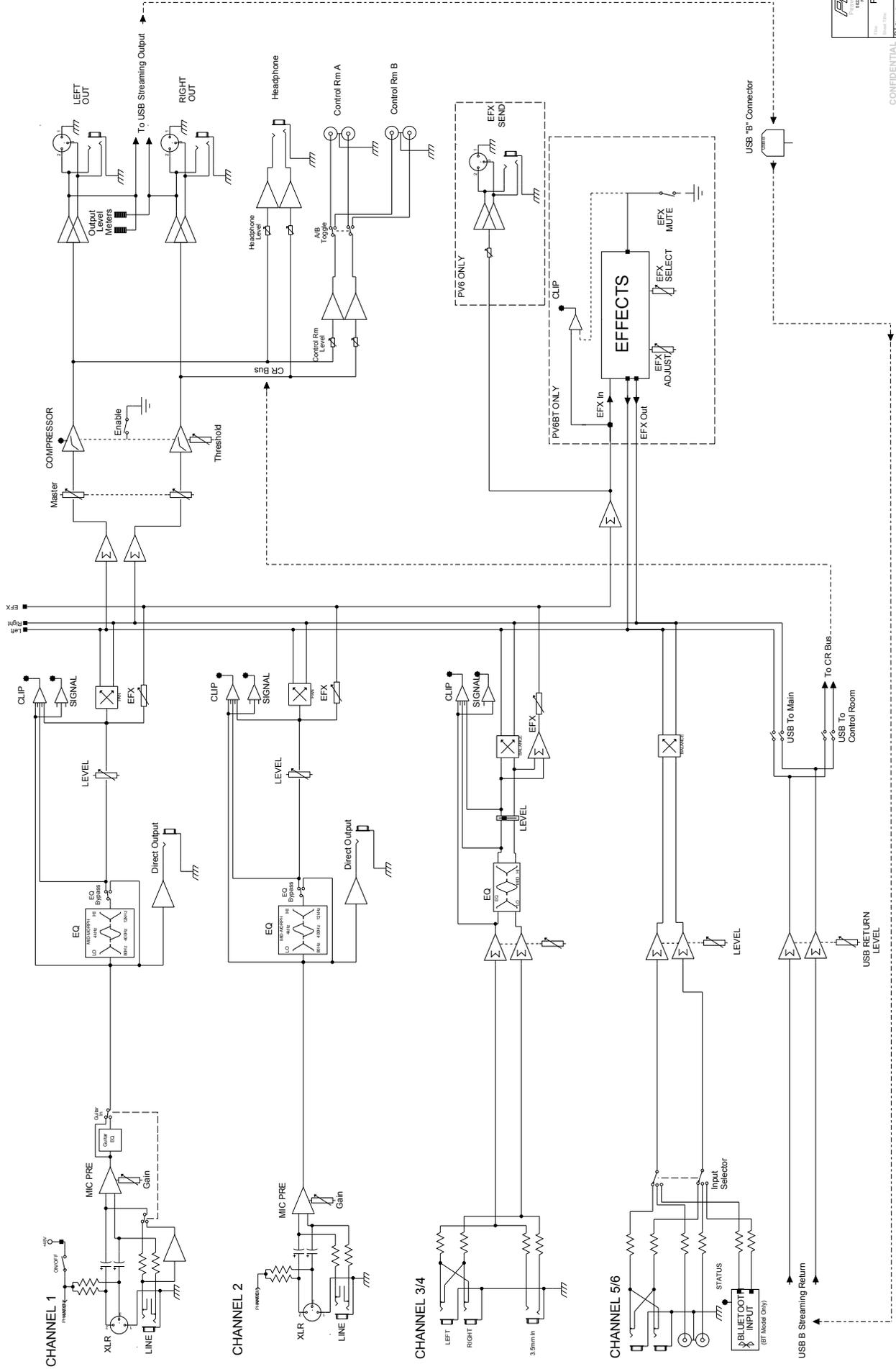
メイン電源スイッチです。

41 USBポートタイプB

USBは、コンピュータとの間でデジタルオーディオをレコーディングまたは再生するため、PV®シリーズ USB ミキサーをコンピュータに接続するために使用します。USBポートは、ミキサーのメイン/テープステレオ出力をコンピュータに送ります。USBポートは、コンピュータからデジタルオーディオを受信します。その後、コンピュータを再生にのみ使用している場合、USBの「メインへ」スイッチ（{18}、PV6；{21}、PV6BT）を通してメイン左/右出力に割り当てることができます。レコーディングの場合、USBの「コントロールルームへ」コントロール（{17}、PV6；{20}、PV6BT）を使ってループの形成を避けます。Windows® Vista、Windows 7、Windows 8、Mac OS X® 10.0 以上、iOS デバイスに対応します。

- 1 - プレートリバーブブライト
- 2 - プレートリバーブミディアムローパス
- 3 - プレートリバーブダーク
- 4 - ホールリバーブボーカル
- 5 - ホールリバーブボーカル大
- 6 - ホールリバーブストリングス
- 7 - ルームリバーブボーカルエア
- 8 - ルームリバーブスネアロー
- 9 - ルームリバーブアコースティックギター
- 10 - デイレイダブル
- 11 - デイレイスラップバック
- 12 - デイレイブライト、リピート少
- 13 - デイレイブライト、リピート多
- 14 - コーラスハイデプス、スローレート
- 15 - コーラスモデレートデプス、ワイドレート
- 16 - コーラスショートデプス、ファストレート

ブロック図



PV[®]6 & PV[®]6BT シリーズ仕様

マイクプレ EIN = -126 dBu @ 最大ゲイン/ 150 オームソース

入力

機能	入力 Z	入力ゲイン 設定	最小**		最大	平衡/非平衡	コネクタ
			最小**	公称入力レベル*			
マイク (150オーム)	2 kΩ	最大ゲイン (59 dB)	-71 dBu	-51 dBu	-39 dBu	平衡	XLR ピン 1 Gnd ピン 2 (+) ピン 3 (-)
		最小ゲイン (4 dB)	-17 dBu	+5 dBu	+16 dBu		
ライン (10 K オーム)	10 kΩ	最大ゲイン (40 dB)	-52 dBu	-32 dBu	-20 dBu	平衡	1/4" TRS; ティップ (+) リング (-) スリーブグランド
ライン1 GTRシエイ ブオン	1 Meg Ω @ ≤ 200 Hz, 12AX7入力同様	最小ゲイン (-15 dB)	+2 dBu	+23 dBu	> +32 dBu		
ライン 3/4	10 kΩ	最大ゲイン (19 dB)	-32 dBu	-12 dBu	+2 dBu	非平衡	1/4" TS; ティップ (+) スリーブグランド
		公称	-15 dBu	+6 dBu	+13 dBu		
3.5mm	2.8 kΩ	最大ゲイン (30 dB)	-44 dBu	-24 dBu	-10 dBu	非平衡	3.5mm; ティップ=L, リ ング=R, スリーブグランド
		公称	-27 dBu	-6 dBu	+8 dBu		
ライン 5/6	6.8 kΩ	最大ゲイン (18 dB)	-43 dBu	-23 dBV	-10 dBu	非平衡	1/4" TS; ティップ(+), ス リーブ グランド
		公称	-13dBu	-3 dBu	+12dBu		
RCA	2.2 kΩ	最大ゲイン (29 dB)	-32 dBu	-22 dBu	-8 dBu	非平衡	RCA: ティップ(+), スリー ブグランド
		公称	-19 dBu	-8 dBu	+6dBu		

0 dBu=0.775 V (RMS)

** 最小入力レベル(感度)は、チャンネルとマスターのフェーダを最大ゲインにセットしたときに公称出力 (+4 dBu) を持つ最小信号です。

* 公称設定は、指定通り、ゲイン調整以外のすべてのコントロールを0dB (ロータリーポットで50%回転) にセットした状態です。

出力

機能	最小負荷 Z (オーム)	出力レベル		平衡/非平衡	コネクタ
		公称	最大		
メイン左/右	600	+4 dBu	+20 dBu	平衡	XLR ピングランド ティップ ピン2 (+)、ピ ン3 (-) 1/4" TRS; ティップ (+)、リング (-)スリーブ グランド
エフェクトセンド (PV6のみ)	600	+4 dBu	+20 dBu	平衡	1/4" TRS; ティップ (+)、リング (-)スリーブ グランド
コントロールルーム	600	+4 dBu	+20 dBu	非平衡	RCA: ティップ(+), スリーブグランド
ヘッドフォン	8	+4 dBu (負荷 なし)	+20 dBu	非平衡	1/4" TRS; ティップ (左)、リング (右)スリー ブグランド

0 dBu=0.775 V (RMS)

ゲイン

マイク入力ゲイン調整レンジ:	+4 dB - +59 dB
マイク入力 - 左/右平衡出力	79 dB (最大ゲイン)
ライン入力ゲイン調整レンジ:	-15 dB - 40 dB
ライン入力 - 左/右平衡出力	60 dB (最大ゲイン)
ステレオ3/4ゲイン調整レンジ:	オフ - +19 dB
ステレオ3/4 - 左/右出力	39 dB (最大ゲイン)
3.5mm入力ゲイン調整レンジ:	オフ - +30 dB
3.5mm入力 - 左/右出力	51 dB (最大ゲイン)
ステレオライン5/6ゲイン調整レンジ:	オフ - +18 dB
ステレオ5/6 - 左/右出力	28 dB (最大ゲイン)
RCAゲイン調整レンジ:	オフ - +29 dB
RCA - 左/右出力	39 dB (最大ゲイン)

周波数応答

マイク入力左/右出力 | 10 Hz - 20 kHz +0 dB/-1 dB

全高調波歪み

<0.006% 標準 | (BW 22 Hz a 22 kHz)

ハム、ノイズ

出力	残留ノイズ	S/N 比 (基準:+4dBu)	テスト条件
マスター左 / 右	-97 dBu	101 dB	マスターフェーダ下(ダウン)、チャンネルレベル下(ダウン)
	-92 dBu	96 dB	マスターフェーダ公称、チャンネルレベルダウン、EFXミュート
	-82 dBu	86 dB	マスターフェーダ公称、チャンネルフェーダ公称、奇数チャンネルパン(左)、偶数チャンネル(右)

(ハム、ノイズ測定: 22 Hz - 22 kHz BW)

入力換算ノイズ (EIN)

-126 dBu (入力終端 150 オーム、帯域幅20 kHz)

クロストーク/減衰

隣接入力チャンネル (1 kHz) >90 dB

左 - 右出力 (1 kHz) >70 dB

チャンネルレベルコントロールキル (1 kHz) >85 dB

同相除去比 (マイク入力)

50 dB 最小 (20 Hz - 20 kHz)

70 dB 標準 @ 1 kHz

メーター

信号/過負荷インジケータ

6セグメント、ピークリーディング (トップ緑色LED = +4 dBu)

赤色 LED がクリッピング未満 5 dB で点灯

寸法

7.25" 幅 x 11.4" 奥行 x 2.1875" 高さ
(18.42 cm x 28.96 cm x 5.56 cm)

重量

所要電力

PV6: 3.99 lbs (1.81 kg)
PV6BT: 4.06 lbs (1.84 kg)

100-240 VAC 50/60 Hz 15 ワット



取付けの注意:

本機は、可燃表面から次の間隔を空けて取り付ける必要があります: 上部: 8"、側面: 12"、背面: 12"



www.peavey.com

Warranty registration and information for U.S. customers available online at
www.peavey.com/warranty
or use the QR tag below



Features and specifications subject to change without notice.

Peavey Electronics Corporation 5022 Hartley Peavey Drive Meridian, MS 39305 (601) 483-5365 FAX (601) 486-1278



Logo referenced in Directive 2002/96/EC Annex IV
(OJ(L)37/38, 13.02.03 and defined in EN 50419: 2005
The bar is the symbol for marking of new waste and
is applied only to equipment manufactured after
13 August 2005